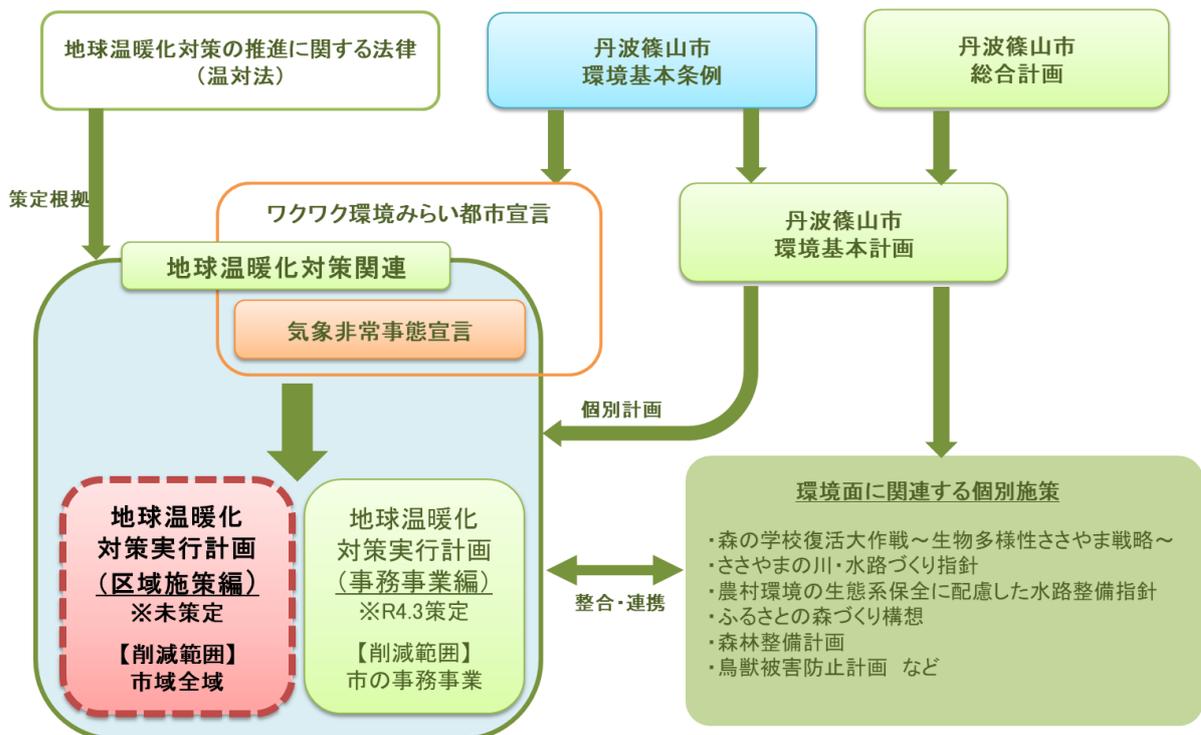


地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について

2023.7.12 環境審議会資料

1. 策定の背景

- ・平成22年4月に丹波篠山市環境基本条例（以下、条例）を施行し、市民、事業者、行政がそれぞれ役割を担い、環境の保全と創造に取り組んできた。
- ・令和2年5月に策定した第2次丹波篠山市環境基本計画（以下、環境基本計画）（計画期間：令和2年度～令和7年度）では、豊かさの基盤となる環境を再生し、「守る」ことに加え、「活かす」ことによって丹波篠山市が持続可能なまちとなることを目指している。
- ・令和3年3月に市のまちづくりの基本的な方針をまとめた丹波篠山市総合計画が改定され、基本方針の一つとして「環境との共生と経済が循環する暮らしづくり」を掲げた。
- ・令和4年1月に気候の危機的な状況について、市民や事業者と危機感を共有し、ともに気候変動対策に取り組んでいくため、市議会とともに「気候非常事態宣言」を表明した。
- ・令和5年1月には、丹波篠山の環境をよくするために市民一人ひとりが活躍し、ワクワクと将来にわたって幸せに暮らしていける魅力的なまちとして未来に引き継いでいくための方針として「ワクワク環境みらい都市宣言」を表明した。
- ・全ての地方公共団体は、「地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）」第21条に基づき、「地球温暖化対策実行計画」を策定することとされている。
- ・丹波篠山市では、これまで市の事務事業に関する温室効果ガス削減計画（事務事業編）を策定し、公共施設等における再エネ設備等や省エネ化を図ってきた。その一方で、市域全体における温室効果ガス削減計画（区域施策編）については、未策定である。



図：地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の位置づけイメージ

2. 策定の目的

- ・市域全体の温室効果ガスの排出抑制等を推進するための総合的な計画として位置付ける。
- ・環境と経済の好循環による脱炭素社会、循環経済、分散型社会への移行を目指した計画とし、再生可能エネルギーの最大限導入だけでなく、農地の適正利用をはじめ、里地里山の適正管理や廃棄物等の発生抑制など、地域の課題解決につながる計画とする。
- ・温室効果ガス排出量の見える化により、削減に必要な施策の検討や施策効果の把握につながり、部門別に効果的な働きかけが可能となる。
- ・削減目標の設定とそれに向けた具体的な措置を示し、2050年ゼロカーボン実現に向けた行政、事業者、市民等の取り組みのロードマップとする。



図：気候非常事態宣言時の別紙掲載のCO₂排出削減イメージ

3. 策定までの手続き（予定）

時期	内容	
	本会（全体）	部会
R5.7.12	策定概要の説明、部会設立	
R5.9 中頃		協議1回目、意見聴取
↓	(内容調整)	
R5.11 上頃		協議2回目、意見聴取
↓	(内容修正、素案の完成)	
R5.11 下頃	書面で意見聴取	
↓	(計画書内容修正)	
R5.1 中～2 中頃	パブリックコメント	
↓	(内容修正)	
R6.3 中頃	環境審議会で提案	
↓		
R6.3 下頃	完成	

研究者業績

研究者検索結果一覧 >> 増原 直樹

増原 直樹

[編集](#)

研究者氏名	増原 直樹 マスハラ ナオキ
URL	
所属	兵庫県立大学
部署	環境人間学部
職名	准教授
学位	博士（工学）（大阪大学）
J-Global ID	201801012479258640

プロフィール

学部卒業後15年間にわたる環境NGO(NPO)での事務局/実践活動の傍ら、地方自治体の環境/エネルギー計画、低炭素施策の策定プロセスや計画内容に関する研究を細々と進めてきました。

2013年に総合地球環境学研究所（地球研）に転任、水・エネルギー・食料連環（ネクサス。つながり）に射程を広げ、自然科学者とも連携し、特に水・エネルギーネクサスに関係するステークホルダーの意識や利害関心の分析を担当しました。

2018年から2020年度まで、同研究所の実践プログラム1（環境変動に柔軟に対処しうる社会への転換）に所属、戦後日本の水資源開発の歴史に焦点を当て、特に工業用水や水力発電の時系列的な分析を進めました。2021年4月より、兵庫県立大学にて、主に環境政策、環境行政、SDGs関連の教育研究に従事しています。

研究キーワード

水・エネルギー・食料ネクサス , 持続可能な開発目標(SDGs) , 環境政策 , 再生可能エネルギー , 市民参加 , 地方自治体 , エネルギー政策 , 環境計画

研究分野

- 人文・社会 / 政治学 / 行政学
- 環境・農学 / 環境政策、環境配慮型社会 /

経歴

2021年4月	-	現在	兵庫県立大学 環境人間学部 准教授
2018年3月	-	2021年3月	総合地球環境学研究所 研究部 上級研究員
2013年8月	-	2018年2月	総合地球環境学研究所 研究部 プロジェクト研究員